

○厚生労働省告示第八十一号

健康保険法（大正十一年法律第七十号）第四十四条第二項の規定に基づき、健康保険法第四十四条第一項に規定する療養についての費用の額の算定方法（昭和五十九年九月厚生省告示百四十八号）の全部を次のように改正し、平成十四年四月一日から適用する。ただし、この告示による改正後の第二項の規定については、平成十五年四月一日までの間において別に厚生労働大臣が定める日から適用する。

平成十四年三月八日

厚生労働大臣 坂口 力

健康保険法第四十四条第一項に規定する療養についての費用の額の算定方法

- 1 健康保険法第四十四条第一項に規定する療養（同法第四十三条第二項に規定する食事療養を除く。）についての費用の額の算定については、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法（平成六年三月厚生省告示第五十四号）の例による。この場合において、別表第一の上覧に掲げる療養を行った場合にあつては同表の下欄に掲げる療養を行ったものとみなして、別表第二に掲げる療養を行った場合にあつては同表の下欄に掲げる点数を用いて、それぞれ算定するものとする。
- 2 前項の規定にかかわらず、特定承認保険医療機関の病棟（医療法（昭和二十三年法律第二百五号）第四条の二第一項に規定する特定機能病院その他の病院の病棟であつて別に厚生労働大臣が指定

するものに限る。)における療養(健康保険法第四十三条第一項第五号に掲げる療養(同条第二項に規定する食事療養を除く。))及びその療養に伴う同条第一項第一号から第三号までに掲げる療養に相当するものに限る。)についての費用の額の算定については、当該療養を提供する特定承認保険医療機関の病棟ごとに別に厚生労働大臣が定めるところとする。

別表第一

<p>前歯部の鑄造歯冠修復又は歯冠継続歯に 金合金又は白金加金を使用した療養</p>	<p>前歯部の鑄造歯冠修復又は歯冠継続歯に 銀パラジウム合金を使用した療養</p>
<p>総義歯の床部に金属を使用した療養</p>	<p>総義歯の床部にスルフォン樹脂を使用した療養</p>
<p>薬事法(昭和三十五年法律第四百四十五号 第八十条の二第一項に規定する治験に 係る診療</p>	<p>上欄の診療のうち検査、画像診断、投薬及び注射に係 る診療(投薬及び注射に係る診療にあつては、当該治 験の対象とされる薬物の予定される効能又は効果と同 様の効能又は効果を有する医薬品に係る診療に限る。)を行わないもの</p>
<p>薬事法第八十条の三第一項に規定する治 験に係る診療</p>	<p>上欄の診療のうち検査及び画像診断に係る診療(当該 治験の対象とされる医療用具を使用した処置若しくは 手術又は歯冠修復及び欠損補綴が行われた日から起算</p>

別表第二

<p>入院期間が百八十日を超えた日以後の入 院に係る療養</p>	
<p>上欄の療養に係る所定点数から、当該所定点数を構成 する点数であつて別に厚生労働大臣が定めるものに百 分の十五を乗じた点数を控除した点数</p>	<p>して前八日目に当たる日から当該処置若しくは手術又 は歯冠修復及び欠損補綴が行われた日から起算して八 日を経過する日までの間（二以上の処置若しくは手術 又は歯冠修復及び欠損補綴が行われた場合にあつては 、最初の処置若しくは手術又は歯冠修復及び欠損補綴 が行われた日から起算して前八日目に当たる日から最 後の処置若しくは手術又は歯冠修復及び欠損補綴が行 われた日から起算して八日を経過する日までの間とす る。）に行われたものに限る。）を行わないもの</p>
<p>特定承認保険医療機関における検査</p>	<p>上欄の特定承認保険医療機関を健康保険法の規定によ る療養に要する費用の額の算定方法別表第一医科診療 報酬点数表第2章第3部に定める高度の医療を提供す</p>

る病院であつて別に厚生労働大臣が定める基準に適合しているものとして厚生労働大臣が指定する保険医療機関とみなして算定した点数